

相関を認めた。これより ^{99m}Tc -GSA 肝シンチグラフィが術後早期の肝再生の指標となる可能性が示唆された。

17. ^{99m}Tc -GSA 肝シンチの小児領域への応用

黒堅 賢仁 柳 剛 宮川 英男
伊藤 晋 南部 一郎 飯田 昭彦
水谷 弘和 大場 覚 (名古屋市大・放)

2 か月～15 歳の小児 31 例 (胆道閉鎖術後 22 例, 術前 3 例, 肝外傷, 乳児肝炎, Alagille 症候群, およびその疑い, ガラクトース血症による肝障害, 各 1 例) に ^{99m}Tc -GSA 肝シンチを行った。臨床的に肝機能が良好と考えられる群と肝不全群 (肝移植の適応) との分離が可能であった。胆道閉鎖術前症例の HH15, LHL15 は正常範囲内であり, 乳児肝炎との鑑別の可能性が示唆された。全症例では, 血液生化学的検査値と相関はあまりみられなかったが, 胆道閉鎖症を除いた場合, 相関がみられた。胆道閉鎖症において, 8 歳以上の症例では 1 歳以下の症例に比べ HH15, LHL15 の悪化傾向が見られ, 加齢が肝機能の悪化の一因子である可能性も示唆された。小児領域でも有用な検査法となりえると考えられた。

18. 核医学検査が有用であった小児肝腫瘍の一例

山本 亨 山本 和高 高橋 範雄
杉本 勝也 木戸屋榮次 石井 靖
(福井医大・放)
藤沢 和郎 須藤 正克 (同・小児)
法木 左近 (同・一病理)

低身長を主訴とする 11 歳女兒の肝左葉に偶然みつかった巨大な FNH の一例を報告した。CT と MRI では腫瘍内部に拡張した脈管が認められた。後日行われた ^{99m}Tc -フチン酸を用いたコロイド肝シンチでは投与直後に正常肝実質よりも先に腫瘍部が描出され delay でも取り込みが認められた。また ^{99m}Tc -PMT を用いた肝胆道シンチは経時的放射能の減少が認められ画像診断上 FNH が疑われ biopsy で組織的にも確認された。